

1. 件名：OECD/NEA 主催の ROP ワークショップ（INROW Session2）に関する打合せ

2. 日時：令和5年12月12日（火） 13：05～14：20

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 検査監督総括課 渡邊課長補佐、水戸係長

経済協力開発機構／原子力機関 原子力技術・規制課 副課長、他2名

原子力エネルギー協議会 副長

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力発電部門 発電グループ マネジャー、
他1名

5. 要旨

経済協力開発機構／原子力機関（以下「OECD/NEA」という。）が2024年11月に日本で開催することを検討している国際原子炉監督ワークショップ（以下、「INROW」という）に関して、配布資料を用いて、当該ワークショップの全体像、INROW Session2（※参考に示す過去の面談にて「ROP ワークショップ」としていたもの）の素案について説明があった。

この中で、過去の面談で原子力規制庁から原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）に検討を依頼していた INROW Session2 で原子力規制庁検査官の活動を海外専門家が視察する活動（以下、「検査視察」という。）を実施する原子力発電所は、関西電力株式会社（以下、「関電」という。）の大飯発電所となった件について、OECD/NEA から ATENA 及び関電に対して感謝が伝えられた。

加えて、OECD/NEA から INROW Session2 の実施に関して、検査視察に同行する職員数、必要な通訳についての調整、大飯発電所周辺で利用可能な会議場の情報提供等について、原子力規制庁、ATENA 及び関電に依頼があった。

6. 配布資料

2024 Japan's INROW on the Implementation of the Reactor Oversight Process in Japan

7. 参考（過去の関連する面談）

OECD/NEA 主催の ROP ワークショップへの対応依頼

<https://www2.nra.go.jp/disclosure/meeting/NRA/202309.html>

以上